

ページ

市内で活動中のクラブ、サークルを募集しています。課まで。

広報クイズのプレゼントが、9月号のクイズの当選者からロマネット入浴券に変わりました。

暑さで疲れた心身を、温泉につかってリフレッシュさせてください。

あなたに挑戦!
No.261
広報クイズ

◎前回の答え(8/1)と当選者

問1-①文化センター跡地

問2-②134 問3-②ヒスイ

正解総数15通(応募総数17通)の中から抽選で、H・Kさん(東銀座1)、K・Iさん(堀ノ内2)、Y・Aさん(湊4)、H・Nさん(川岸上2)、T・Oさん(神明町1)にオリジナルスプーンをお送りします。

◆広報クイズ応募方法

はがきに、答えの番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、ひと言を書き、広報クイズ係(〒394-8510岡谷市役所(住所不要))までお送りください。抽選で5名の方にロマネット入浴券をお送りします。9月20日の消印まで有効。(ひと言は15日号「みんなの声」に掲載させていただく場合があります)

問1 8月30日～9月5日はこの週間です。

答え ①世界自殺予防週間
②救急週間
③全国統一防災週間

問2 岡谷市長選挙は9月〇日です。

答え ①16 ②23 ③30

問3 9月19日にうなるソロ10国の第2回「〇の巻」があります。

答え ①林 ②火 ③山

ヒント…記事を読むと…。

産だと改めて思いました。

私は初めて見た横河川の
上流の美しさに感動し、これはやはり岡谷の大切にすべき財産だと改めて思いました。

この日は中流でカゲロウ種、カワゲラ種、トビゲラ種、その他の生物の合わせて23種、上流では25種とハコネサンショウウオもとれ、川の汚れ具合の差は大きくでませんでしたが、それだけ川の水は年々きれいになっていっていると言えそうです。先生の話ですと、カワゲラ目が3種以上生息していれば、水質は飲めるほどによいそうです。しかし残念な事に、上流で水を汚した形跡を先生が目にした事もあったそうで、飲んでごらんと安心して言えなくなつたこの話があり、子ども達はしっかりと上流でのマナーを教わりました。

研究や探検の時の身支度や、自分の身は自分で守る事などもアドバイスして頂きました。子ども達は真剣な表情で聞き入っていました。きつと自然についての知識や関心が深まった事でしょう。

環境安全課の方々も、暑い中、子供の安全に気を配り、手作りカレーを運んで振舞ってくれました。

楽しく勉強になった一日。子ども達の笑顔と成長が一番のお返しですね。

次回は、ソーラーカー作り。また楽しみにしている子ども達が多いようです。

市民しポーター だより

小平陽子さんの 岡谷子どもエコクラブレポート



の中流、上流で水に入りました。子ども達は網を手にし、嬉々として川に入り、しばし昆虫探しに没頭。やはり夢中になる子ども達の姿は、いいものです。

環境庁の事業として始まり、岡谷市では今年で8年目の岡谷子どもエコクラブ。毎年4年生以上(1〜3年生は保護者同伴)30人余りが参加しています。今年3回目の活動は水生生物観察会。八ヶ岳博物館館長でもある、自然観察インストラクターの茅野先生の説明を受けながら、バスで移動し横河川





笑顔で長いお付き合い

やはぎ さおり
矢萩 沙緒里さん
(湖畔1)

『むつぎ歯科医院』にお勤
めの矢萩沙緒里さん。
職業は？
歯科衛生士をしています。
どうしてこのお仕事を？
専門的な職業に就きたいと
思い、いろいろな職種を調
べました。歯科衛生士以外
に、なりたいたい！やってみた
い！と思う職業がなく決め
ました。
やりがいは？
患者さんの悩みが解決され、
笑顔で帰っていただいた時
です。また、治療が済めば
終わりではなく、定期的に
来院していただきクリーニ
ングをさせていただいてい
ます。長いお付き合いを患

者さんのできることもやり
がいの一つです。
気をつけたいことは？
歯科医院には、幅広い年齢
層の患者さんがいらつしゃ
います。患者さん一人ひと
りに合った対応を心がけて
います。特に言葉使いには
気をつけています。
休日は何をしていますか？
映画鑑賞をしたり、買い物
に出かけたりしています。
今年の目標は？
新しい技術・知識の習得に
時間や費用をおしまないこ
とです。積極的に行いろ
な勉強会に参加していきたく
いです。

Slip, Slop, Slap and Wrap!

いよいよ9月になって、少し涼しくなってきましたね。今年
の夏は例年より暑かった気がしませんか？

みなさんご存知だと思いますが、ニュージーラ
ンドの季節は日本の真反対で、夏は12月から2
月までです。日本もそうですが、特に若い人
たちにとっては、日に焼けた肌がいまだにフ
ァッシュナブルだと思われています。しかし、
ニュージーランドは南極のオゾンホールに最
も近い国のひとつなので、日差しが強くて、
実際のところ、オーストラリアと同じように
国内の皮膚がん発生率は世界一です。毎年、メ
ラノーマ（皮膚黒色腫）発生率が18%~20%増
加している場所もあるので、ニュージーランド
がん協会は皮膚がんの予防に力を入れています。
12月、1月は毎日、2月、3月は週末と祝
祭日に浜辺にテントを立て、皮膚がん予防の
プロモーションをやっています。この皮膚がん予防プロモ
ーションは「SunSmart（サンスマート）」といいます。これに



国際交流員の
セーラ・アキレス です

No.34

は多くの学校、自治体、スポーツ施設、職場などを巻き込ん
で、夏になると無料で各場所で日焼け止めを配るなどする活
動が盛んです。日焼け止め、サングラス、帽子などは欠かせ
ないものです。

ニュージーランドの紫外線は強い上に危険で、
毎日、天気予報には、日焼けに注意するよう「日
焼け時間」というものがあります。そして、
がん協会の「SunSmart」プロモーションのキ
ャッチフレーズは「Slip! Slop! Slap! Wrap!（着
よう！塗ろう！被ろう！掛けよう！）」とい
うことで、皮膚がんを予防するには、Slip
into a shirt!（シャツを着よう）、Slop on
some sunscreen(日焼け止めを塗ろう)、Slap on
a hat(帽子を被ろう)、Wrap on a pair of
sunglasses!（サングラスを掛けよう）という
夏のルールを考えました。

この数年、日本の夏
は徐々に暑くなり、紫
外線も強くなりましたので、みなさ
んも夏になると、Slip! Slop! Slap! And
Wrap!!!するように忘れずにしましょう！

